



林業イノベーションとは？

林業が、若者や女性にとっても魅力的な成長産業へと発展するために、林業の特性を踏まえつつ、林業の枠を超えて新技術を活用し、生産性や安全性を飛躍的に向上させる「林業イノベーション」に大きな期待が寄せられています。林野庁は、「林業イノベーション」を推進し、新技術の現場への導入を加速化するため、令和元年12月に「林業イノベーション現場実装推進プログラム」を策定しています。プログラムに掲げる2025年を目途とした技術開発、基盤データの環境整備、普及等を着実に進めるため、令和3年度に「林業イノベーションハブセンター：通称:Mori-Hub（森ハブ）」を立ち上げました。

林業イノベーションハブセンター Mori-Hub [森ハブ]の取組

- 先進技術の導入促進のための異分野の技術探索
- アドバイザリーコミッティにおける林業の戦略的技術開発・実装等に向けた方策検討
- 産学官の幅広いプレーヤーの参画するネットワークの構築
- 課題解決に向けたプロジェクト組成・事業化支援

令和3年度Mori-Hub（森ハブ）の実施内容について

令和3年度は、林業イノベーションの推進機関として、行政、研究機関、林業経営者等の様々な知見者による林業イノベーションハブセンター（森ハブ）専門委員会（アドバイザリーコミッティ）を設置し、5つのテーマを設定して議論を実施しています。令和3年度は、異分野を含む先進技術の調査分析・方針検討に加えて、林業イノベーションを推進する仕組み構築も検討しています。

検討内容	対象となるテーマ
先進技術の調査分析、方針	テーマ1 新技術／総合戦略 イノベーションの推進・加速のため、異分野を含む先端技術の探索・評価を行い、導入に向けたロードマップを検討
	テーマ2 機械開発 最新技術や自動機械の導入も見据え、今後の機械開発・作業システムの方針を検討
	テーマ3 地域林業政策 新技術・新素材の導入・活用による地域振興や持続的な経済成長・経済活動を図るための方策を検討
仕組み構築	テーマ4 イノベーションエコシステム 林業におけるイノベーションを促進する社会的環境の形成のための方策を検討
	テーマ5 知的財産 開発成果の適切・効果的な活用・管理を行うため、林業での新技術導入に当たっての留意点や方策を検討



INFORMATION

林業イノベーションハブセンター Mori-Hub（森ハブ）

発行・問い合わせ先：林野庁 森林整備部 研究指導課 技術開発推進室 TEL：03-3501-5025

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/morihub/morihub.html>



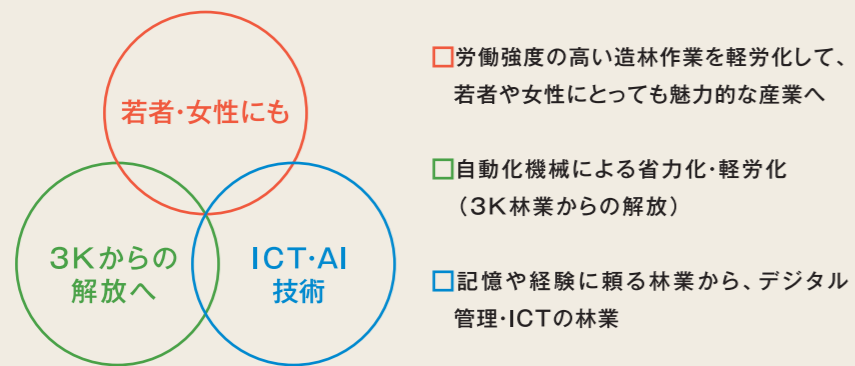
林業のイノベーションを生み出すエコシステム

Mori-Hub

[森ハブ]

Mori-Hub (森ハブ) は、「林業イノベーション」を加速化していくとともに、イノベーション推進に向けた支援機能により技術の現場実装を実現し、林業の課題解決を促進するプラットフォームになることを目指していきます。

これからの林業のありかた



Mori-Hub [森ハブ] の機能

場の形成 (プラットフォーム)

実証プロジェクトの展開

事業化支援の展開

情報発信

場の形成 (プラットフォーム)

実証プロジェクトの展開



情報発信

事業化支援の展開